

研究 主題	自主的・実践的によりよい集団を築こうとする学級づくりを目指して —課題の設定から振り返りまでの一連の活動における学習過程の充実を通して—
----------	---

## 第2学年学級活動学習指導案

指導月日 令和3年10月20日

所属校名 名取市立みどり台中学校

氏名 畑中 麻衣子

### 1 題材名 「よりよい学級生活に向けて」

#### 2 題材の目標

- (1) 学級の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。合意形成のための手順や活動の方法を身に付けるとともに、実践するために必要な知識や行動の仕方を身に付ける。  
〔知識及び技能〕
- (2) 学級をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、日常生活の中で協働して実践することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕
- (3) 見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に自己の役割や責任を果たそうとしている。学級における人間関係をよりよく形成し、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

#### 3 題材観

本題材は、中学校学習指導要領（平成29年告示）で示されている学級活動の3つの内容のうち「(1)学級や学校の生活づくりへの参画」に該当し、その中の「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」の内容を受けて設定した。題材名の「よりよい学級生活」とは、安心・安全な環境の中で互いに絆を育み、自発的に集団活動に関わりながら個人としても集団としても成長していくことを目指すものである。

中学校の2学年という時期は、中学校生活にも慣れ、学級や学校を客観的に見る余裕が出てくる時期である。この時期に、自分たちの生活について振り返り、課題解決に向けて話し合い、取り組むことは生徒たちの自主性と実践的な態度を育むことにつながると考え、本題材を設定した。Ⅰ期では、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編」で例示された学習過程（例）」を参考に、学級の課題の設定から振り返りまでの一連の活動を生徒達は体験した。Ⅱ期では、課題設定及び解決方法を更に吟味し、実践力を高めていく。

#### 4 生徒の実態（2年2組 男子16名 女子18名）

和気あいあいとした雰囲気があり、グループや学級全体での活動にはお互いに声を掛けながら取り組んでいる。生徒たちは、これまで自治的な取組の経験が少なく、集団の諸問題を見付け自分のこととして捉えるという姿勢があまり見られなかつたが、授業実践Ⅰまでの活動を経て、積極的に意見を出し合いながら、学級をよりよくしていこうという自主性と実践的な態度が育まれつつある。

一方で、学級における生活をよりよくするための諸問題の発見や課題の設定及び解決方法については、表面的なものになりがちであった。これまでの学級生活を踏まえ、よりよい学級とは、どのような状態であるかを折に触れて考えさせ、より効果的で実行性のある取組を行わせたい。

## 5 指導観

生徒たちは、これまで自治的な活動の経験が少なかったことから、Ⅰ期は教師がある程度関与し、課題の設定から振り返りまでの一連の活動をサイクルとして回し、成功体験を積み重ね、自己有用感や自主的に取り組む意欲を高めることに主眼を置いた。また、学級生活の諸問題について自分たちの手で解決する活動を考えさせ実行するとともに、お互いに信頼し合いながら協働できるように学級の人間関係づくりにも努めた。それにより、自分たちの学級の現状に目を向けるきっかけになるとともに、班で取り組むことで互いに関わり合う機会にもなった。Ⅱ期では、Ⅰ期での経験を踏まえ、より自主的に生徒たちが学級の現状から課題を設定し、解決方法を決定及び実践できるように指導する。

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編 に特別活動の特質に応じた見方・考え方は「集団や社会の形成者としての見方・考え方」であり、それを働かせるということは、「各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結びつけることである」と示されている。生徒たちが大人になって生活していくに当たっても、この見方・考え方を働かせるよう、本題材を通して育んでいきたい。

(参考)

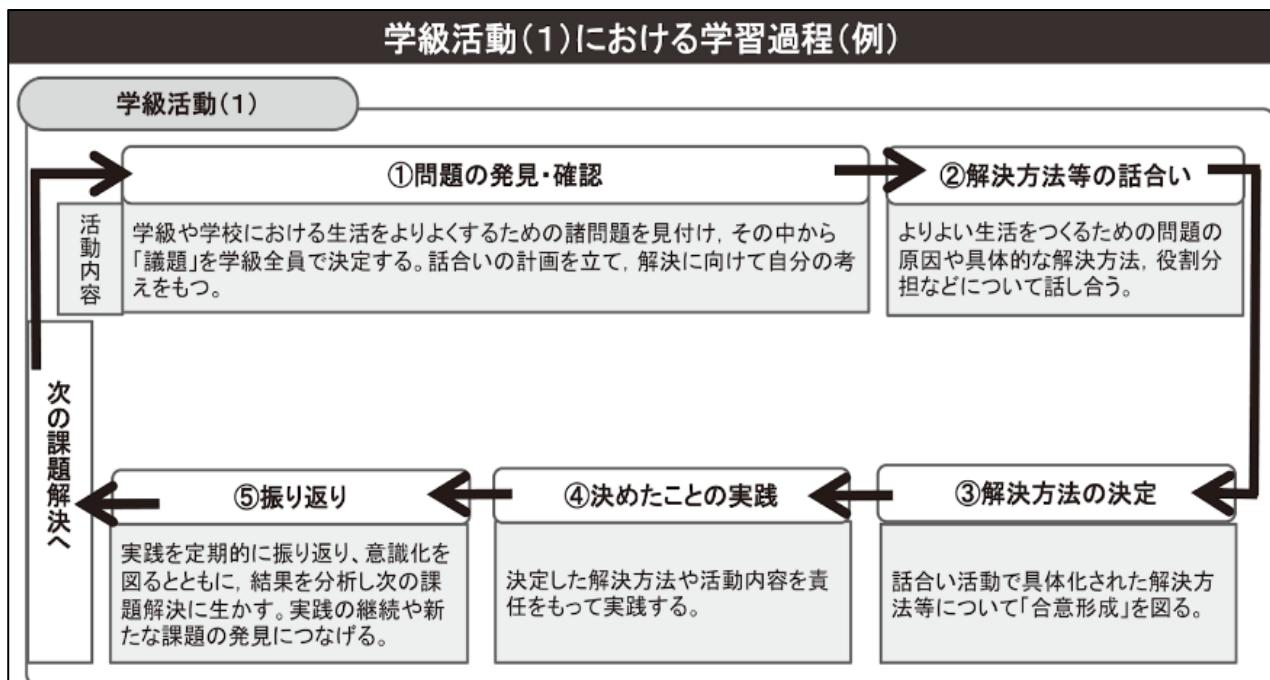


図1 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編で例示された学習過程（例）

## 6 研究主題との関連

- (1) 研究主題　　自主的・実践的によりよい集団を築こうとする学級づくりを目指して  
—課題の設定から振り返りまでの一連の活動における学習過程の充実を通して—
- (2) 研究主題との関連

中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編 に「学級活動において育成を目指す資質・能力は、『問題の発見・確認』、『解決方法等の話し合い』、『解決方法の決定』、『決めたことの実践』、『振り返り』といった学習過程の中で育まれる」とある。そこで、本研究ではⅠ期からⅡ期の授業実践を通して、課題の設定から振り返りまでの一連の活動における学習過程の充実を通して、自主的・実践的によりよい集団を築こうとする学級づくりを目指していきたいと考えた。そのような学級づくりを通して、生徒一人一人の集団や社会の形成者としての見方・考え方を育んでいきたい。なお、本研究における「学習過程の充実」とは、図1のサイクルが回を重ねるごとに深化していくことと捉える。例えば、生徒が課題を見いだす視点が増えてきた、合意形成の過程で意見が異なっても課題解決という目標に向けて折

り合いをつけ納得を得ながら進められるようになってきた、実践の中で仲間のよさを引き出し適切な役割分担をしながら協働する姿が見られてきた、そして次の実践へと意欲を高めていく等と考える。

## 7 題材の指導と評価の計画

### (1) 題材の評価規準（内容のまとまりごとの評価規準）

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成のための手順や活動の方法を身に付けている。 合意形成したことを実践するために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	学級をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、日常生活の中で協働して実践している。	学級における人間関係を形成し、見通しを持ったり振り返ったりしながら、自主的に自己の役割や責任を果たそうとしている。 他者と協働して日常生活の向上を図ろうとする。

### (2) 題材の指導計画（一連の活動と評価）

	活動内容	評価規準
8月、 9月	「1学期を振り返り、課題の確認をしよう」  夏休み前に話し合ったクラスの課題を確認し、2学期の見通しを持とう。	【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】 学級における人間関係を形成し、見通しを持ったり振り返ったりしながら、自主的に自己の役割や責任を果たそうとしている。  他者と協働して日常生活の向上を図ろうとする。
	課題に挙がった「言葉」について考えよう。	【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】 学級をよりよくするための課題を見いだしている。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、日常生活の中で協働して実践している。
10月 (本時)	「課題の設定及び解決に向けて話し合おう」  「〇〇キャンペーン」を実施 学級目標「全力安全」に焦点を絞り、生徒達から挙がった「心が温まるクラスにする」ということへの課題を出し合い、解決策を班で話し合う。 ※学習指導要領解説で例示された図1の学習過程「①問題の発見・確認」「②解決方法等の話し合い」「③解決方法の決定」	【よりよい生活を築くための知識・技能】 互いの意見や可能性を生かし合うことの意義を理解し、話し合い活動の仕方を身に付けている。  【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】 現在のクラスの課題を的確に捉え、よりよい学級づくりに向けて話し合うことができる。
10月、 11月	「班ごとに決めた活動を実践しよう」 ※学習指導要領解説で例示された図1の学習過程「④決めたことの実践」	【主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度】 学級における人間関係を形成し、見通しを持ったり振り返ったりしながら、自主的に自己の役割や責任を果たそうとしている。  他者と協働して日常生活の向上を図ろうとする。

	<p>「活動の振り返りをしよう」（実践の結果を検証、新たな課題の発見）</p> <p>※学習指導要領解説で例示された図1の学習過程「⑤振り返り」→「①問題の発見・確認」「②解決方法等の話し合い」「③解決方法の決定」</p>	<p>【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】</p> <p>学級をよりよくするための課題を見いだしている。</p> <p>課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、日常生活の中で協働して実践している。</p>
12月	<p>「2学期の振り返り」（2学期全体の活動の振り返り、新たな課題の発見）</p> <p>※学習指導要領解説で例示された図1の学習過程「⑤振り返り」</p>	<p>【集団や社会の形成者としての思考・判断・表現】</p> <p>学級をよりよくするための課題を見いだしている。</p> <p>課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、日常生活の中で協働して実践している。</p>

## 8 本時の計画

### (1) 本時の目標

- ① 互いの意見や可能性を生かし合うことの意義を理解し、話し合い活動の仕方を身に付けている。
- ② 現在のクラスの課題を的確に捉え、よりよい学級づくりに向けて話し合うことができる。

### (2) 本時の指導に当たって

以下の手立てを講じて、本時の指導に当たる。

<事前の手立て>

#### コミュニケーションについてのアクティビティ実践

学級全体や生活班で話し合う際に、話し合いのスキルも大切だが、根底には生徒同士や生徒と教師の人間関係が土台となる。コミュニケーションアクティビティ等を実施し、人との関わりについて体験的に学ぶ機会を設け、よりよい人間関係を築いていくという態度を育む。

「エンブレム」というアクティビティ：自分の事を伝えたり、相手の事を聞いたりする活動。コミュニケーションにはどんな工夫が必要なのか体験を通して学ぶ。

<本時の手立て>

#### ① 現状把握の工夫

事前に生徒に「心が温まるクラス」についてアンケートを取り、キーワードを提示する。そのキーワードを基に「心が温まるクラス」にしていくために必要な活動を話し合う。

#### ② 活動の可視化の工夫

活動の目的や具体的な内容を記入したワークシートを班で1つ作成する。帰りの会で振り返りをし、そのワークシートに進捗状況等を記入していく。ワークシートは活動期間中、教室に掲示し、他の班も共有できるようにする。

#### ③ これまでの活動の振り返りの工夫

①、②を効率よく、効果的に行うために、これまでの学級のあゆみを写真で提示し、学級の変容を実感させ、新たな活動への意欲を高める。

### (3) 指導過程

段階	学習活動	指導上の留意点	評価
導入	<p>1 これまでの学級のあゆみを振り返る。 ・学級のこれまでの様子を写真で振り返る。</p> <p>2 アンケートの結果を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事への取組や学活で実践してきたことを、写真を用いながら具体的に取り上げる。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心が温まるクラス」をどう捉えているのか共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の課題について共通理解が図れるように、A I テキストマイニングを用いてキーワードを提示する。</li> </ul>	
展開	<p>3 本時の議題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">議題：「心が温まるクラス」に向けてどんな活動ができるか話し合おう。</div> <p>4 班で話し合う。</p> <p>◆予想される生徒の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日班の人全員と挨拶をする。他の班の人にも実践してもらう。</li> <li>・クラスメイトの良いところや良い行動を見つける。班で共有する。</li> <li>・良いことをしていた人や頑張っていた人を帰りの会で発表する。</li> <li>・ポスターを作成して掲示し、朝の会で呼び掛けをする。</li> </ul> <p>5 学級全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班での話合いの内容を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師は各班の様子を観察し、必要に応じて話合いの方向性等を確認する。</li> <li>・意見が抽象的であるなど、曖昧な場合は、具体例を挙げさせて学級全体でイメージを共有する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級委員が調整役となり、発表を進めていく。教師は学級の様子を観察し、必要に応じて助言等を行う。</li> </ul>	<p>【発言、観察、ワークシート】互いの意見や可能性を生かし合うことの意義を理解し、話合い活動の仕方を身に付けている。</p> <p>【発言、観察、ワークシート】現在のクラスの課題を的確に捉え、よりよい学級づくりに向けて話し合うことができている。</p>
終結	<p>6 話合い活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価カードに記入する。</li> </ul>		

## (4) 本時の評価

① 互いの意見や可能性を生かし合うことの意義を理解し、話合い活動の仕方を身に付けている。

【発言、観察、ワークシート】

② 現在のクラスの課題を的確に捉え、よりよい学級づくりに向けて話し合うことができている。

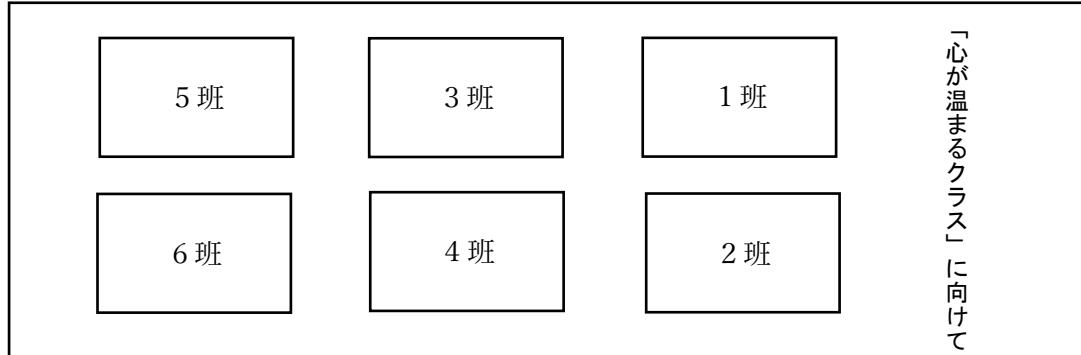
【発言、観察、ワークシート】

## (5) 準備物

教師：学級の様子を振り返るスライド、ワークシート、自己評価カード

生徒：筆記用具、学活ファイル

## (6) 板書計画



「心が温まるクラス」に向けて「全力安全」「全力集中」

「心が温まるクラス」に向けて 「全力安全」「全力集中」	「心が温まるクラス」とは? :	クラスの課題は? :
あさしさ やさしさ 笑う 顔 認めめる 協力 仲良し 元気 何事 嬉しい 辱められる 受け入れる 守る 安全 一生懸命 集中 楽しさ 活気 ルール 支え 話す 話 開わる 積極的 全員 手伝う 行動 名前 嬉しい 呼ぶ 一部 名前 だれ 話 会話 知る 男女 悪口 合つ 認める 一部の人 開拓 会わせる 助ける 協力	落ち着き 協力 元気 何事 嬉しい 辱められる 受け入れる 守る 安全 一生懸命 集中 楽しさ 活気 ルール 支え 話す 話 開わる 積極的 全員 手伝う 行動 名前 嬉しい 呼ぶ 一部 名前 だれ 話 会話 知る 男女 悪口 合つ 認める 一部の人 開拓 会わせる 助ける 協力	落ち着き 協力 元気 何事 嬉しい 辱められる 受け入れる 守る 安全 一生懸命 集中 楽しさ 活気 ルール 支え 話す 話 開わる 積極的 全員 手伝う 行動 名前 嬉しい 呼ぶ 一部 名前 だれ 話 会話 知る 男女 悪口 合つ 認める 一部の人 開拓 会わせる 助ける 協力

第三章

トのめんなが挙げたキーワードから、あなたがちゃんと大切にしたいトコトコですか？

理由：  
キーワード：

脚注一覧

② 班で2週間取り組む活動「OOキヤンノリ」を考えよう。

決定した活動内容「〇〇キャンペーン」。